

## 7つの成長戦略の 中間成果を問う



高橋 たくはし  
渉 議員

**議員** 7つの成長戦略が実施されてから2年が経過したが、中間における成果についての評価は。

**市長** 各戦略において着実に成果が現れている。特に観光客の誘致では、平成26年の観光客入込数を154万人と見込んでいる。

**議員** テレビコマースは、効果があるのか。

**市長** 観光客の誘客事業の柱になるのがテレビコマースであり、県内民放4局で放映し、約3千万円を支出している。大変評判が

**議員** 地域審議会の今後は  
地域審議会は、平成

よく、着実に成果が現れており、今後は商店街などを含めた地域経済への波及効果が高まるよう、情報発信を継続する。

**議員** 米価下落による市の経済への影響が懸念されるが、その対応は。

**市長** 全体的には雇用の改善が続いており、緩やかな回復基調に乗っているものと認識している。

26年度で終了とのことであるが、今後も地域審議会を継続すべきではないか。

**市長** これまで、各地域審議会の意見や提言を踏まえ、市政運営に反映してきた。今後は、平成29年度からスタートする第2次総合計画の策定にあたり、学識経験者や地区代表の市民など25人を総合計画審議会の委員に任命したので、この審議会の意見を伺いながら、市民の声を行政に反映する仕組みを検討していく。



市民の声を行政へ「地域審議会」

## スポーツパーク 計画基本構想に ついて



佐々木嘉郎 議員

**議員** (仮称)栗原市スポーツパーク計画基本構想策定事業の内容は。

**市長** 「ホッケーのまち栗原」を定着させる。ホッケー場や武道館的な体育館、合宿所など一体的な施設整備の検討を行い、2020年の東京オリンピックに出場する海外選手団のキャンプ地の誘致を進める。他のスポーツ大会も誘致し、地域活性化につなげたい。

**議員** ホッケー場は、どこに建設するのか。

**市長** 築館下宮野地内の宮

城大学医学部栗原キャンパス予定地が最適地と考える。

**議員** 合宿施設を考えているようだが、どのようなものか。

**市長** 施設利用者数ほどの程度の見込になるか、施設の規模はどのくらい必要かなど、関係機関の意見も伺い、検討していく。

**議員** 「ホッケーのまち栗原」に向け、ホッケー競技の普及促進、小学校への競技用具配付、競技指導とあるが、どの小学校へ配付し、競技指導は誰が行うのか。



ホッケー場建設が予定されている築館下宮野地内

**教育長** これまで取り組んでいる築館や宮野、玉沢、一迫の各小学校と、新たに1校を選定し、用具を配付する。指導者は、宮城県および栗原市ホッケー協会と協議し、学校に派遣する。教員に対して研修会などを開催する。

**議員** 「高円宮杯ホッケー日本リーグ」の今後の予定はどうなっているか。

**教育長** 平成27年は、女子日本リーグの10チームが参戦し、栗原市で2日間予定されている。

(仮称)  
スポーツパーク構想  
計画と今後の  
取り組みは



佐々木幸一 議員

**市長** (仮称) 栗原市スポーツパーク構想は、東京オリンピック開催が決定したときから、ホッケー競技選手の合宿や他のスポーツ大会を誘致し、地方創生政策と

**議員** 新医学部用地に、2020年の東京五輪のホッケー競技海外選手団の事前合宿誘致を目指し、市総合計画になかった(仮称)栗原市スポーツパーク構想が、議会で説明もなくマスコミに発表されたので、事業を計画した経緯と、今後の取り組みについて伺う。

**議員** 市民はアベノミクスが実感できない中、昨年は消費税の引き上げや米価の大幅な下落など、厳しい環境の中で生活をしている。水道・簡易水道料金を一

水道料金改定  
激変緩和策を

して交流人口の拡大を図り、地域活性化につながると考え、庁議で総合計画実施計画を協議・決定し、一般会計予算に計上した。

**市長** ここは最大限の行財政改革を進め、低減措置をとりながら水道料金の改定を行い、安定的な水道事業経営を進めたい。

**議員** 現在の社会情勢を考えると、激変緩和措置をとるのが政治ではないか。



栗原市スポーツパークと水道料金値上げの掲載記事

揚水機場維持  
管理補助金制度  
の存続を



小野 久一 議員

**議員** 関係水利組合への通知によると、平成26年度以降、補助率を徐々に引き下げて、平成28年度で廃止するというが、なぜか。土地改良区費のほかに、電気料金やポンプの維持管理費に多額の費用を要している。市の中山間地の農業を守り、耕作放棄地を増やさないためにも必要な制度であり、補助率を元に戻し、存続すべきではないか。

**市長** 平成20年度に全地区を対象とした「栗原市農業用水揚水機場維持管理補助金要綱」を新たに制定した。その後、2度の震災により農家経営が逼迫しているとの判断から2年間延長した。また、米の直接支払い交付金をはじめとする大きな農政改革が動き出したため、その対応として、平成28年度までの3年間、さらなる延長をした。平成25年7月に関係団体にチラシを配布し、平成28年度までの運用を知らせたところであり、廃止を前提に摺り合わせをしたものではない。

放射性廃棄物  
処理方法の再検討を



出番を待つ揚水機場 (栗駒泉沢水利組合)

**議員** 指定廃棄物最終処分場をめぐる、茨城県の市町村長会議が開かれ、現在行

なっている14市町での分散保管の継続を含めて検討すると決め、小里環境副大臣はその意見を尊重するとした。宮城県においても、一か所に集中するという方針を見直す時期ではないか。

**市長** 国が分散保管を認めるのであれば、その考えを確認するためにも、市町村長会議で議論する必要があると考える。

**その他の質問**  
幼稚園教育のあり方について、幼児一体施設、一元化などを質した。



**(仮称)栗原市  
スポーツパーク計画  
はどこで検討したか**



菅原 勇喜 議員

**議員** (仮称)栗原市スポーツパーク計画基本構想策定事業2千万円は、新聞報道によれば、民有地20畝を取得し造成、ホッケー場、合宿所、トレーニングルーム付きの体育館の整備を検討するとある。これまでどの部署でどう検討されてきたのか、また一切の建設総額はいくらとなるのか。

**市長** ホッケーによるスポーツを通じたまちづくりを考えていた。ホッケーキャンプ地の誘致や、他のスポーツ大会も誘致し、地域活性化

化につなげていきたい。  
2月2日の庁議で、総合計画実施計画を協議、決定し、当初予算に計上した。建設総額は、構想を策定する中で算出していく。

**総務部長** 7月に担当者の説明会、10月に市長と各部署の意見交換会、11月に次長クラスの調整会議を2度行い、11月26日臨時庁議で実施計画の協議、12月1日に実施計画案の協議、1月20日過ぎに予算書の入稿、最終決定は2月2日という流れであった。

**教育長** ホッケー場や合宿所建設は前から話があるが、単独ではなく、スポーツパークとして最終決定した。

**企画部長** 7月に各課担当者に次年度総合計画の説明、10月に各課から個票提出、11月から次長級、部局長級の調整会議後、庁議を経て決定という流れである。

**議員** 「想定外の費用がかかるときは撤退する」というが、その額はいくらか。

**市長** いくらとは言えないが、常識で考えている数字を超える場合にあつては、



医学部予定地が、今度はスポーツパーク？

撤収せざるを得ないときもあるかもしれない。

**改正介護保険で  
利用者は  
どうなる**



佐藤 文男 議員

**議員** 国は、介護保険制度の介護サービス提供業者に支払う介護報酬を2.7%減額し、特別養護老人ホームの基本報酬も6%と大幅に引き下げる。

一方で、介護職員の処遇改善加算は1万2千円の賃上げになると言われているが、事業所に対する基本報酬の引き下げで、働く方々にしわ寄せが出るのではと危惧され、介護保険制度が大きく変わろうとしている。そこで以下の点はどうか。

① 特別養護老人ホームへ

の入所は、原則、要介護3以上に限定されたが、要介護1、2の方も特例で入所できるとされた。どのような方が入所できるのか。特例入所の判断に際し、行政の関わりはどうか。

② 要支援1、2の方々を対象にした総合事業への移行が、本年4月からできないのは、何が問題なのか。

③ 介護報酬の引き下げにより、サービス提供施設や利用者にも、どのような影響が予想されるか。

**市長** ① 新規入所の特例



花山地区にオープンした特別養護老人ホーム

は、知的障害や精神障害を伴い、安定した生活ができない方、家族の虐待により心身の安全確保が必要な方、認知症高齢者で常時見守りが必要な方などである。

② 地域の実情に応じたサービスの基準、単価、利用料などの設定、事業者の指定、事業内容の周知などの準備が必要のため、平成29年4月までに実施する。

③ 介護職員の処遇改善で人材が確保されるとともに、質の高いサービスの提供が促進されるものと思う。

議会報告会

報告書を提出

議会報告会運営調査特別委員会

議会報告会は、平成24年度から開催しているが、いずれの年度も、参加者数は200名に届かず、参加状況だけをみると、低調な感があることは否めません。現下の社会経済情勢の変化や、市民ニーズの高度化が進むなか、議会や市政に対する要望・提言などが、多様化していることを、把握することができました。二元代表制の一翼を担う議会においては、さらなる議会活動や委員会活動の活性化が求められています。

議会報告会は、市民から身近な意見を聴くことができる貴重な機会であることから、今後は、市政懇談会とのすみ分けやテーマの設定など、運営方法のさらなる改善が必要です。さらに、議会報告会を契機とした政策形成サイクルの構築をめざし、議員間討議を活発化させ、政策立案や政策提言につながるよう、議会の機能を最大限に発揮していくことが、使命と考えます。

将来を見据えた  
病院経営を



瀬戸健治郎 議員

**議員** 退任された小泉病院事業管理者には、栗原市の医療発展に尽力頂き、心から感謝する。  
平成27年度の病院経営は2億8千万円の赤字予算となっていて、病床利用率や通院患者数が大幅に減っており、大変厳しい状況にある。市長はどのように導いていくのか。  
**市長** 4月から病院事業管理者に鈴木氏を迎え、東北大学からは応援を継続する旨の約束を得ている。新たな機能を持つ病棟な

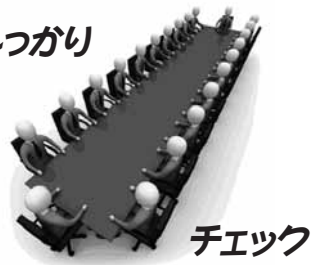
ども視野に入れ、時代の波を的確に捉えた医療を推進する。また、中核病院である中央病院は、診療利益が出ない部分も運営しなければならぬ役割があり、厳しい財政運営になるのは仕方がないと思っている。  
**破格待遇のホッケー**  
**議員** ホッケーに関しては、一迫や築館のホッケー場の芝の張り替えなど、多額の経費をかけて改修をした。大会運営でも大きな助成を

スポーツパーク基本構想  
事業内容などを調査

(仮称)栗原市スポーツパーク  
計画に関する調査特別委員会

市は、平成27年度の新規事業として(仮称)栗原市スポーツパーク基本構想の策定を計画しています。このため市議会では、スポーツパークの事業内容、

しつかり



チェック

施設整備に係る費用対効果や課題など、当該構想の実現性について調査するため、3月5日に「(仮称)栗原市スポーツパーク計画に関する調査特別委員会」を設置しました。  
この特別委員会は、議長を除く議員25人で構成し、委員長には佐藤千昭議員、副委員長には小岩孝一議員を選任しました。調査期限は、特に期間を定めず、調査が終了するまでとしています。



市民に信頼される病院をめざして

しており、他の競技団体と比べて破格の待遇である。

このスポーツパーク構想は、各競技団体の意見を十分聞

かなければ、決してうまく行くものではないと思う。また、閉校した学校跡地の利用など、他との整合性も忘れてはいけませんが、予定地としてくりこま高原駅周辺は考えなかったのか。  
**市長** 体育協会や各団体の皆様にスポーツパーク構想を丁寧に説明し、ご指導を頂くよう努力していく。また、くりこま高原駅周辺は、本市にとって大切な場所と認識しており、都市計画に入れて、しっかりと対応していく。



## 栗原を大切に

数年前、東京で同級会が開催され、友と久しぶりに酒を酌み交わし、昔話に花が咲いた。後ろ髪をひかれる思いで友に別れを告げ、上野駅に着いたが、出発時刻まで間があったため、駅構内の食堂に入った。店内には私以外の客の姿はなかった。飲み物と食事を注文した。店員が「お酌をしますか」と尋ねてきたので、私はとっさに方言で「イガスちゃ」と答えた。店員は、嬉しそうな顔で「懐かしい言葉ですね。宮城県の方ですか」と問われた。聞けば、栗原出身の店員でした。互いに栗原の話題になり、有意義な時間を過ごせた。

列車の中で、店内での会話を思い出し、栗原の自然環境の良さ、伊豆野堰開発による美田、歴史がある旧家を後世に残すなど、故郷を離れ、栗原を想う皆さんが、終の住み処にと、再び栗原に戻ってこられるような、そんな栗原市になるよう私も勧めていきたい。



あつし 敦 さん  
おいはら 及原 (志波姫)

# 私もひとこと

## 思いを紡いで



あべ さちこ 阿部 幸子さん  
(花 山)

花山に移住し、間もなく4年目に入ろうとしています。三女の誕生や長女の小学校入学、そして、この春からは二女が小学校に入学するなど、充実した子育てを満喫しています。独身の時は子どもが多い家庭に憧れ、だけど当時住んでいた東京では現実的ではなく、結婚を機に仙台へ、そして、東日本大震災を契機に里山での暮らしを決意し、単身赴任の夫が待つ花山に移り住んだのです。

私が思い描いていた理想郷が、そのまま実現したかのような大地、花山。子どもたちのびのびと、日々健やかに成長する姿は、まるで地域そのものが大きな保育園のようです。私は、栗原での子育てが素晴らしいものであるかを、移住を考えている方や、これから母親になるであろう学生の皆さんにお伝えし、地域住民として母親の楽しさ、生きがい、役割を伝えていけたらと願っています。

## あとがき

この「市議会だより」が皆様に届く頃には、農家の皆さんは春の農作業に忙しく働いていることでしょうか。一杯働いたことが報われ「食料と農業が大事にされる政治にしなければ」との思いを強くしています。

さて、2月議会は平成27年度当初予算の審議で活発な議論がされました。医学部の予定地だった場所に、突然とスポーツパーク構想が2千万円の測量設計委託料で提案されました。その削除の修正案が提出されましたが否決され、特別委員会を設置し調査をしていくことになりました。

このような議論がされている議会を、是非、傍聴していただきたいと思えます。

小野 久一

### 広報編集調査特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 佐々木 脩 |
| 副委員長 | 佐藤 範男 |
| 委員   | 菅原 勇喜 |
| 委員   | 高橋 渉  |
| 委員   | 菅原 久男 |
| 委員   | 藤原 千昭 |
| 委員   | 佐藤 悟  |
| 委員   | 高橋 久男 |
| 委員   | 高橋 久男 |
| 委員   | 小野 久一 |
| 議長   | 石川 正運 |